



2022年2月期 第3四半期 決算説明会

2021年12月27日



A D A S T R I A
— *Play fashion!*

目次

・ 連結損益計算書 サマリー	4	・ LOVEBONITO社に資本参加	11
・ アダストリア単体	5	・ 連結貸借対照表	12
・ WEB事業	6	・ 店舗数・出退店実績	13
・ 自社EC認知獲得プロモーション	7	・ M&Aを通じて成長戦略の実現に 取り組む	14
・ OMO型店舗 「ドットエスティストア」の出店	8	・ サステナビリティレポート発行の お知らせ	15
・ 海外事業	9	・ 通期連結業績予想（再掲）	16
・ 中国大陸の事業進捗	10		

連結損益計算書

(百万円)

	2021/2期 第3四半期				2022/2期 第3四半期					
	9ヶ月累計		3ヶ月		9ヶ月累計			3ヶ月		
		構成比		構成比		構成比	前年同期比		構成比	前年同期比
売上高	132,833	100.0%	53,168	100.0%	146,731	100.0%	110.5%	54,120	100.0%	101.8%
アダストリア単体	116,896	88.0%	46,900	88.2%	127,435	86.8%	109.0%	47,631	88.0%	101.6%
国内子会社 *1	10,636	8.0%	4,250	8.0%	12,384	8.4%	116.4%	4,194	7.7%	98.7%
海外子会社 *2	7,479	5.6%	2,782	5.2%	9,242	6.3%	123.6%	3,156	5.8%	113.4%
売上総利益	73,949	55.7%	31,677	59.6%	81,673	55.7%	110.4%	30,895	57.1%	97.5%
販管費	72,841	54.8%	26,158	49.2%	77,189	52.6%	106.0%	27,043	50.0%	103.4%
広告宣伝費	5,343	4.0%	1,983	3.7%	6,347	4.3%	118.8%	2,328	4.3%	117.4%
人件費	27,329	20.6%	9,096	17.1%	27,625	18.8%	101.1%	9,518	17.6%	104.6%
設備費	26,175	19.7%	9,963	18.7%	27,508	18.7%	105.1%	9,788	18.1%	98.2%
のれん償却費	118	0.1%	39	0.1%	44	0.0%	37.3%	14	0.0%	37.4%
その他	13,873	10.4%	5,075	9.5%	15,664	10.7%	112.9%	5,393	10.0%	106.3%
営業利益	1,108	0.8%	5,519	10.4%	4,483	3.1%	404.6%	3,851	7.1%	69.8%
アダストリア単体	1,756	1.3%	5,486	10.3%	4,041	2.8%	230.1%	3,844	7.1%	70.1%
国内子会社 *1	▲ 572	-	▲ 7	-	▲ 235	-	-	▲ 13	-	-
海外子会社 *2	▲ 753	-	▲ 180	-	66	0.0%	-	▲ 116	-	-
アダストリア・ロジスティクス	473	0.4%	140	0.3%	407	0.3%	86.1%	123	0.2%	87.5%
経常利益	3,116	2.3%	5,847	11.0%	5,725	3.9%	183.7%	4,172	7.7%	71.4%
純利益	1,228	0.9%	3,690	6.9%	3,534	2.4%	287.6%	3,085	5.7%	83.6%

EBITDA	6,147	4.6%	7,276	13.7%	9,213	6.3%	149.9%	5,548	10.3%	76.3%
減価償却費	4,920	3.7%	1,718	3.2%	4,685	3.2%	95.2%	1,681	3.1%	97.9%
のれん償却費	118	0.1%	39	0.1%	44	0.0%	37.3%	14	0.0%	37.4%

*1 : (株)BUZZWIT・(株)エレメントルール・(株)ADASTRIA eat Creations・(株)ADOORLINKの単純合算

*2 : 海外法人(香港・中国大陸・台湾・韓国・米国)の単純合算

連結損益計算書（第3四半期3ヶ月）

■ 売上高：541億円（前年同期比101.8%）

- ・ 単体 : 気温の低下、外出需要の回復、自社ECのプロモーション実施で増収
主力商品が好調なグローバルワーク、出店が順調なラコレが全体をけん引
- ・ 国内子会社 : エレメントルール社は、ECと高価格帯ブランドが好調に推移し増収
EC専門のBUZZWIT社は、主力ブランドの苦戦により減収
- ・ 海外子会社 : 香港とアメリカは増収増益を維持、中国大陆は出店による成長を継続
台湾は新型コロナウイルスの影響で減収減益も、足元では復調

■ 売上総利益率：57.1%（前年同期比▲2.5p）

- ・ 9月の夏物消化と為替の影響で前年比は低下したが、秋冬物はプロパー販売できており、適正水準

■ 販管費率：50.0%（前年同期比+0.8p）

- ・ 広告宣伝費 : 4.3%（同+0.6p）（同+3.4億円） 自社ECのプロモーション実施
- ・ 人件費 : 17.6%（同+0.5p）（同+4.2億円） 店舗営業時間正常化に伴う費用増加
- ・ 設備費 : 18.1%（同▲0.6p）（同▲1.7億円） 家賃条件の改善により減少
- ・ その他 : 10.0%（同+0.5p）（同+3.1億円） 配送費・包装費・カード手数料などの増加

■ 営業利益：38億円（前年同期差▲16.6億円） 営業利益率7.1%、EBITDA率10.3%

■ 経常利益：41億円（前年同期差▲16.7億円）

- ・ 営業外収益として時短協力金1.6億円、為替差益1億円を計上

■ 純利益：30億円（前年同期差▲6.0億円）

- ・ 特別利益として貸倒引当金戻入益2.6億円、特別損失として減損損失1.4億円を計上

アダストリア単体

(百万円)

	2021/2期 第3四半期		2022/2期 第3四半期			
	9ヶ月累計	3ヶ月	9ヶ月累計		3ヶ月	
				前年同期比		前年同期比
売上高	116,896	46,900	127,435	109.0%	47,631	101.6%
（既存店前年比）	79.1%	94.1%	108.3%		99.8%	
グローバルワーク	24,515	10,092	27,606	112.6%	10,496	104.0%
ニコアンド	18,813	7,532	19,802	105.3%	7,315	97.1%
ローリーズファーム	14,312	5,703	14,872	103.9%	5,734	100.5%
スタジオクリップ	13,683	5,113	14,361	105.0%	4,911	96.0%
レブシム	8,172	3,241	8,837	108.1%	3,157	97.4%
ジーナシス	6,956	3,044	7,543	108.4%	2,926	96.1%
ベイフロー	6,096	2,439	6,654	105.8%	2,384	97.7%
レイジブルー	3,824	1,596	4,106	107.4%	1,601	100.3%
売上総利益	65,040	28,117	70,836	108.9%	27,281	97.0%
売上総利益率	55.6%	60.0%	55.6%	▲ 0.1p	57.3%	▲ 2.7p
販管費	63,284	22,631	66,795	105.5%	23,436	103.6%
販管費率	54.1%	48.3%	52.4%	▲ 1.7p	49.2%	+1.0p
営業利益	1,756	5,486	4,041	230.1%	3,844	70.1%
営業利益率	1.5%	11.7%	3.2%	+1.7p	8.1%	▲ 3.6p

* : 単体のれん償却費

・ 2021/2期第3四半期9ヶ月累計：85百万円、2022/2期第3四半期9ヶ月累計：44百万円

・ 2021/2期第3四半期3ヶ月：28百万円、2022/2期第3四半期3ヶ月：14百万円

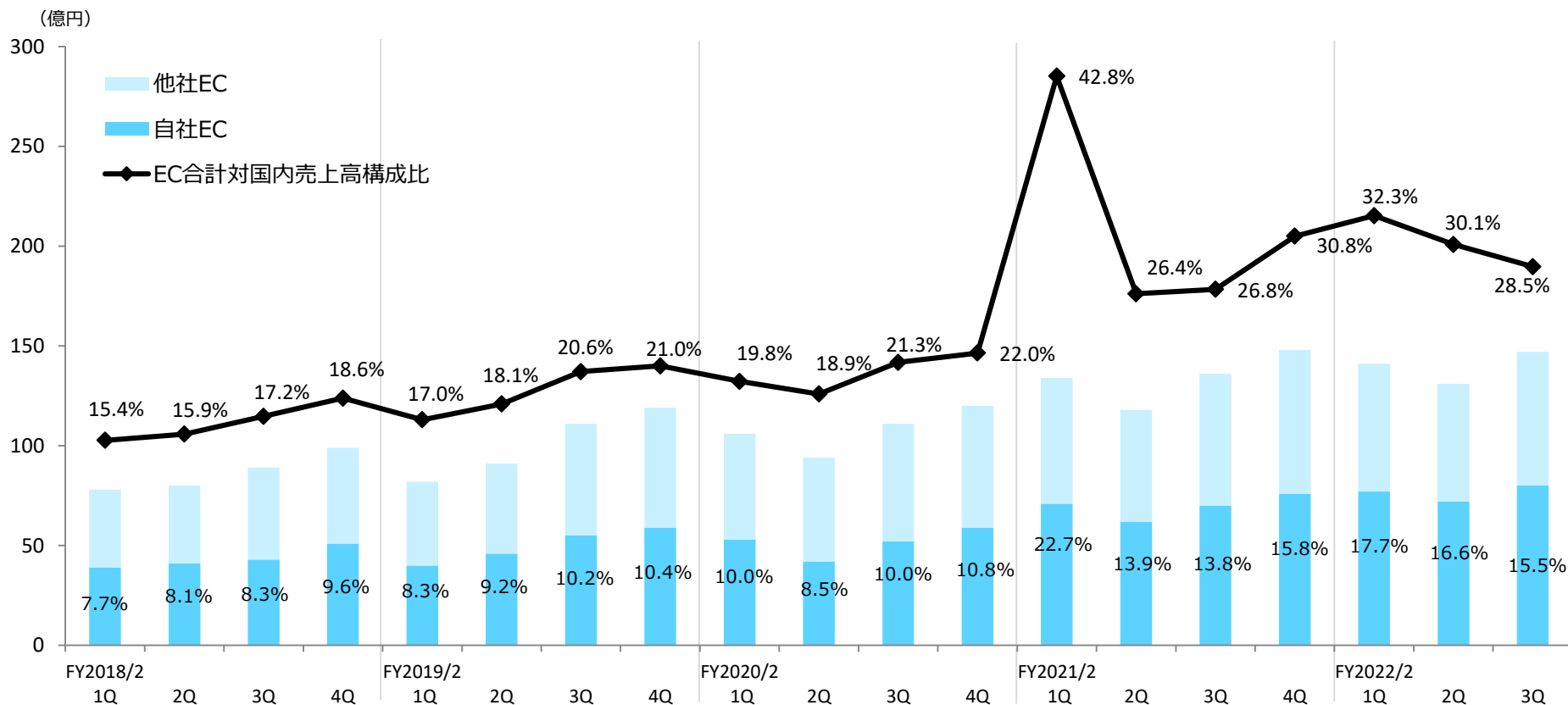
* : 単体売上高は、内部取引消去前を表記

国内WEB事業が成長

■ 2022年2月期（9ヶ月累計）国内EC売上高：**421**億円（前期比108.1%）

- 対国内売上高構成比：30.2%（うち自社EC約16.5%）

- 自社ECドットエスティ会員数：約1,320万人（前期末比+150万人）



*：2018/2期より、単体に加え、(株)アリシアを合算

*：2019/2期より、単体・(株)アリシアに加え、(株)エレメントルールを合算。なお、2018年8月より、(株)アリシアは(株)BUZZWITに商号変更

*：2022/2期より、(株)ADOORLINKを合算

自社EC認知獲得プロモーション

■ 自社EC（.st）プロモーション

- 自社ECの中期的成長を目指し、認知拡大のための広告宣伝を強化
- 3月に続き、新たなテレビCMを放映、CM期間に合わせキャンペーンも実施
- 短期的効果だけでなく、長期的効果の実現のため、今後も引き続き実施したい



ドットエスティ

■ プロモーション内容

- ①テレビCM放映
10/27～11/28に国内7エリアで放送
- ②20%ポイント還元
10/27～11/11に自社EC（.st）と全国の実店舗で実施

■ 実施効果

新規登録獲得

新規会員登録 29万人
前年比 181%

アプリダウンロード

30万
前年比 240%

（ショッピングカテゴリーのアプリダウンロード数で1位を獲得）

期間中売上

期間中EC売上
前年比 123%（既存会員）

OMO型店舗「ドットエスティストア」の出店

■ WEBストアと実店舗を融合した「ドットエスティストア」の3店舗目を出店

- 12/3に関西初出店（なんばシティ店）。計画を上回る好調な立ち上がり。



多店舗化に向けたテスト施策

■ 来店促進

STAFF BOARD殿堂入りスタッフが店頭接客

なんばCITY店
オープン記念イベント

STAFF BOARD で大人気のスタッフが店頭にて接客!

12.4 SAT & 5 SUN



バヤコ NENE Hinechi

「STAFF BOARD」で常に人気ランキング上位のスタッフ3名が
店頭に立ち、お客さまのご来店をお迎えいたします!
ファッションの相談にも対応!

- 自社でインフルエンサーを育成することで、顧客接点を強化

※STAFF BOARDは、当社スタッフが自社EC（.st）内で投稿するスタイリング提案コンテンツ

■ 地域密着

大阪を楽しむコラボアイテムを発売



HOTEL SHE, OSAKA×ばいせん

- 大阪エリアで注目のショップやクリエイターとのコラボアイテムを販売
- ローカルマーケティングにより個店を差別化

(百万円)

(海外現法単純合算)	2020/12期 第3四半期		2021/12期 第3四半期					
	9ヶ月累計	3ヶ月	9ヶ月累計			3ヶ月		
				前年同期比 (円 [△] -)	前年同期比 (現地通貨 [△] -)		前年同期比 (円 [△] -)	前年同期比 (現地通貨 [△] -)
売上高	7,479	2,782	9,242	123.6%	118.9%	3,156	113.4%	108.9%
香港	1,829	607	1,997	109.2%	108.4%	695	114.6%	113.8%
中国大陸	822	400	1,862	226.3%	207.2%	595	148.8%	136.2%
台湾	1,859	690	1,852	99.6%	92.1%	617	89.5%	82.8%
韓国	504	152	-	-	-	-	-	-
米国	2,462	932	3,529	143.3%	142.1%	1,247	133.7%	132.6%
営業利益	▲ 753	▲ 180	66	-	-	▲ 116	-	-
香港	▲ 134	▲ 69	119	-	-	28	-	-
中国大陸	▲ 167	▲ 18	▲ 159	-	-	▲ 110	-	-
台湾	57	14	64	113.1%	104.6%	▲ 41	-	-
韓国	▲ 104	▲ 32	▲ 7	-	-	-	-	-
米国	▲ 404	▲ 74	49	-	-	6	-	-

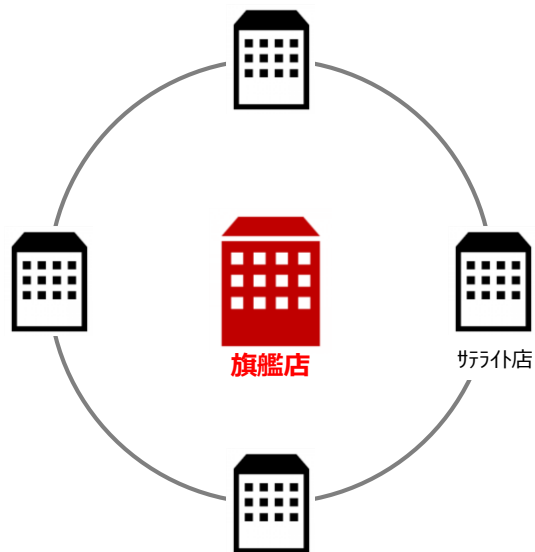
- 香港：新型コロナウイルスの影響低下、不採算店舗の整理で増収増益を継続
- 中国大陸：ニコアンド上海2号店とブランディング戦略が寄与し増収も、新店準備で費用増
- 台湾：8月まで新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収減益、9月以降は復調
- 米国：経済回復で卸事業、実店舗、ECの各チャネルでの売上が増加し、黒字を継続
- 韓国：前期に撤退済み

中国大陸の事業進捗

■ 出店加速、ドミナント戦略モデルの確立を進める

- 9月から12月にかけて、上海のショッピングセンター内に3店舗を新規出店
- 上海の旗艦店でブランド認知を獲得し、周辺のサテライト店舗で収益性を上げるドミナント戦略を実施
- 上海でモデル確立後、中国大陸の他一級都市へも展開予定

ドミナント戦略



旗艦店はブランド形成を重視



サテライト店は収益性を重視

上海にある優良ショッピングモールに出店し、現在実店舗5店舗を展開

■ 新規出店

- 9月30日 前灘太古里店
 - 11月27日 大寧久光店
 - 12月22日 ラスステーション店
- ※いずれも、好調に推移



前灘太古里ショッピングモール

LOVEBONITO社に資本参加

■ シンガポールのLOVEBONITO HOLDINGS PTE.LTD.の株式一部を取得

- 2020年に株式転換ローンの貸付を実施し、今回ローンの株式転換により9.1%の株式を取得
- LOVEBONITO社の日本展開を支援しながら、双方の強みを活かして、新たなグローバル事業を開発
※2022年に自社EC（.st）に出店予定
- 東南アジア地域での事業展開に向け、協業によりノウハウの獲得を目指す



LOVEBONITO社の強み

- 10の重要市場に進出（東南アジア、東アジア、オーストラリア、アメリカ）し、各国のアジア女性をターゲットに、オムニチャネルファッションブランド「Love, Bonito」を展開
- データ活用により、顧客のコミュニティ化、バリューチェーンの最適化、ECと店舗が融合したオムニチャネルの構築を実現

連結貸借対照表

(百万円)

		2020年11月末		2021年2月末		2021年11月末			
			構成比		構成比		構成比	2020年11月末比 増減額	2021年2月末比 増減額
流動資産		55,554	54.4%	51,569	54.0%	55,760	55.0%	+206	+4,190
	現預金	19,222	18.8%	24,179	25.3%	15,916	15.7%	▲3,305	▲8,263
	棚卸資産	18,931	18.5%	15,718	16.5%	21,643	21.4%	+2,712	+5,924
固定資産		46,650	45.6%	43,880	46.0%	45,559	45.0%	▲1,090	+1,679
	有形固定資産	15,950	15.6%	14,577	15.3%	14,538	14.3%	▲1,412	▲38
	のれん	355	0.3%	113	0.1%	68	0.1%	▲286	▲44
	投資その他資産	23,449	22.9%	22,010	23.1%	22,790	22.5%	▲658	+779
総資産		102,204	100.0%	95,449	100.0%	101,320	100.0%	▲884	+5,870
負債		48,099	47.1%	44,747	46.9%	48,885	48.2%	+786	+4,137
	有利子負債	0	0.0%	0	0.0%	6,000	5.9%	6,000	6,000
純資産		54,105	52.9%	50,701	53.1%	52,434	51.8%	▲1,670	+1,732
	自己株式	▲ 6,342	▲6.2%	▲ 7,917	▲8.3%	▲ 7,636	▲7.5%	▲1,293	+281

- 現預金 : ネットキャッシュは前年同期末比93億円減少、納税猶予を受けた法人税等を納付
- 棚卸資産 : 秋冬物確保で前年比は増加も、前年は在庫を抑制しており、今年は平年と同水準
- 負債 : 短期借入金60億を計上。期末までに全額返済予定
- 純資産 : 純資産比率は51.8%、前年同期末比▲1.1p

※この他に、主要取引銀行と300億円のコミットメントラインあり

店舗数・出退店実績

	2021/2期	2022/2期 3Q累計実績			
	期末 店舗数	出店	変更	退店	期末店舗数
グローバルワーク	209	1	0	▲ 2	208
ニコアンド	144	2	0	0	146
ローリーズファーム	134	4	0	0	138
スタディオクリップ	183	3	0	▲ 1	185
レプシム	122	1	0	0	123
ジーナシス	72	2	0	0	74
バイフロー	56	4	0	0	60
レイジブルー	49	1	0	0	50
その他	259	33	0	▲ 4	288
アダストリア合計	1,228	51	0	▲ 7	1,272
（うちWEBストア）	(66)	(3)	(0)	(▲ 3)	(66)
国内子会社合計	104	27	0	▲ 11	120
（うちWEBストア）	(32)	(22)	(0)	(▲ 6)	(48)
国内合計	1,332	78	0	▲ 18	1,392
（うちWEBストア）	(98)	(25)	(0)	(▲ 9)	(114)
香港	14	2	0	▲ 2	14
中国大陸	3	1	0	0	4
台湾	41	3	0	▲ 2	42
米国	10	1	0	▲ 1	10
海外合計	68	7	0	▲ 5	70
（うちWEBストア）	(10)	(2)	(0)	(0)	(12)
連結合計	1,400	85	0	▲ 23	1,462
（うちWEBストア）	(108)	(27)	(0)	(▲ 9)	(126)

* : (株)BUZZWIT・(株)エレメントルール・(株)ADASTRIA eat Creations・(株)ADOORLINKの合算

* : 2022年2月期 3Q累計、グループ連結で改装12店舗

M&Aを通じて成長戦略の実現に取り組む

■ 12/14に株式会社ゼットンとの資本業務提携契約の締結を発表

- 飲食事業の確立を目的に、株式会社ゼットンと協業し新しい付加価値を創出
- 既存事業との連携及び海外地域で、互いのノウハウやネットワークを活用



「もっと楽しい”場”」の創出

■ 概要

- 2021年12月14日 資本業務提携契約の締結を発表
- 12月30日 第三者割当増資の払込予定 12.9億円
(1株につき797円、1,621,400株、増資後25.14%)
- 2022年1月4日～2月16日 公開買付実施予定
(1株につき950円、上限1,668,000株、
議決権保有比率51%) 15.8億円予定
- 下限設定あり 下限株式数 958,600株
(議決権保有比率40%)
- 今期末のB/Sから連結開始を予定

■ ゼットン社の事業特色

- アロハテーブル・ダイニング・ブライダル・
アウトドア・国際事業を展開
- 街のブランディングとなる、魅力あるコンテ
ンツとしての飲食事業に強み
- Park-PFI制度*による公園開発の新規事業や、
公共施設再開発に取り組む

*公募設置管理制度:公園のパブリックスペースを運営する民間事業者を公募により選定する制度

サステナビリティレポート発行のお知らせ

■ 12/7に「サステナビリティレポート 2020-2021」を発行

サステナビリティポリシー：ファッションのワクワクを、未来まで。

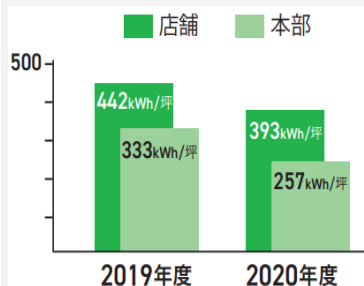


エネルギーの使用と輸送の効率化

- ・ 店舗はLED照明への切り替え、本部は電力使用量の把握により、全社で1坪当たりの使用量を削減
- ・ 物流センターでは、一部に太陽光パネルを設置し、輸送計画の最適化および配送業者との連携によりエネルギー効率化に取り組む

項目	単位	2019年度	2020年度
店舗	電力使用量	千 kWh	36,259
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂ e	16,246
本部	電力使用量	千 kWh	1,342
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂ e	582

【1坪当たりの電力使用量】



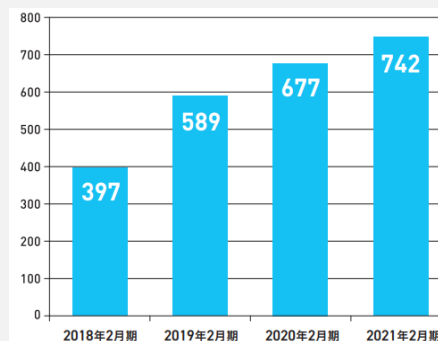
※アダストリア単体

※対象期間：2019年4月～2020年3月末、2020年4月～2021年3月末



グループ調達方針及びガイドライン

- ・ 取引先との強固なパートナーシップのもと、公正で倫理的な取引を目指した調達方針を策定
- ・ 人権、社会、環境リスクを考慮し、腐敗防止を明記した「グループ調達ガイドライン」を定め、ガイドライン誓約書を締結した取引先とともに公正なサプライチェーンの構築に取り組む



ガイドライン誓約書 締結社数の推移



お取引先さま向け説明会

通期連結業績予想（再掲）

■ 期初業績予想から変更なし

（百万円）

	2021/2期	2022/2期 通期		
	実績	予想		
			構成比	前期比
売上高	183,870	219,000	100.0%	119.1%
売上総利益	100,125	121,950	55.7%	121.8%
販管費	99,358	115,450	52.7%	116.2%
営業利益	766	6,500	3.0%	847.7%
経常利益	2,981	6,500	3.0%	218.0%
純利益	▲ 693	3,800	1.7%	-
ROE	-	7.4%	-	-

EBITDA	7,766	13,150	6.0%	169.3%
減価償却費	6,841	6,600	3.0%	96.5%
のれん償却費	157	50	0.0%	31.8%

設備投資	9,298	12,976
------	-------	--------

一株当たり配当金（円）	40	50
（中間配当金）	（15）	（25）

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

その他留意事項

資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は元データから算出しております。

A D A S T R I A
— *Play fashion!*